



2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action）

・令和7年度は、崖線樹林地の保全や花いっぱい運動など、市民との協働による緑豊かなまちづくりを推進したほか、深大寺・佐須地域エリアにおいては、農業公園にて市民参加の農業収穫等体験事業をはじめ、季節野菜を収穫し子ども食堂等へ提供するなど、試行的に地域連携を図りながら運営した。

・また、公園施設長寿命化計画及び公園・緑地機能再編計画に基づき、遊具の更新や公園トイレの老朽化対策・バリアフリー対応に加え、定期的な点検・メンテナンスにより、公園施設の質の向上に向け、都市公園法の管理基準に準拠した適正管理に取り組んだ。

・さらに、公有地化した農地について、市民向け耕作体験の場とするなど、農地としての活用を図った。

・令和8年度も春と秋に開催する緑と花の祭典や市民向けのガーデニング講座、樹木のせん定入門講座など、各種緑化啓発事業と併せて、緑の基本計画及び公園・緑地機能再編指針に基づき、地域特性を踏まえた計画的な公遊園・緑地、緑道の整備を推進する。また、令和7年度に新たに取得した公有地（佐須町4丁目）において、連携協定を結んでいるホッピービバレッジ株式会社と地元農家の方々の協力の下、栽培から収穫、製品化、販売を地域内で循環・完結する地産地消の実証実験の場として活用を予定している。

施策・事務事業マネジメントシート【令和8年度】

1 施策の基本情報(Plan)

施策名		28 水と緑による快適空間づくり
目的	対象	自然、市民
	意図	自然が保全・創出される 自然との共生が図られる
施策の方向		人と自然との共生を目指すために、湧水、公園、崖線、里山などの水辺や緑地を保全し、連続性のある自然動植物の生息空間と緑豊かな美しい街並み・景観を形成する快適な空間づくりに取り組みます。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (目標年度)			目標値	指標の推移	考察 (目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等)
			(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)			
公共が保全する緑の面積	ha	149.4 令和3年度	151.9	152.6	153.45	163 令和22年度	○	・緑の基本計画に基づき、公園等の緑の保全や民有地に対する緑化の維持管理支援を通して緑の質の向上と適切な管理を推進する。
市民一人当たりの公園面積	m ²	5.44 令和3年度	5.5	5.52	5.51	5.44 令和8年度	◎	・緑の基本計画に基づき、緑の質の向上と適切な管理を推進する
公園等面積	ha	147.8 令和3年度	150.2	150.9	151.8	147.8 令和8年度	◎	・緑の基本計画に基づき、緑の質の向上と適切な管理を推進する
区域での環境保全活動等の延べ参加者数	人	1万46 令和3年度	9028	9830	1万2385	1万2000 令和8年度	◎	・深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画に基づく里山、水辺環境の保全・活用を図る

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■28-1 水と緑の保全

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
91	【重点⑤】 公園・緑地、崖線樹林地の保全	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・公園施設長寿命化計画に基づく遊具の更新 ・公園トイレの更新（上布田公園、下布田公園、八雲台公園、上石原児童遊園） ・崖線緑地等の維持・保全、活用に向けた協働による取組 ・公園等における市民団体による花いっぱい運動の推進 ・西調布・飛田給駅前での市民団体との協働によるおもてなしガーデン事業の推進 ・土砂災害警戒区域等における崖線樹林地等整備に向けた地質調査、測量、基本設計、詳細設計 ・公有地化農地等での体験型環境学習の実施による保全意識の醸成	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・公遊園施設（遊具、トイレ等）の経年劣化に応じた計画的な維持・保全に向けた計画的な設計、工事（令和8年度トイレ工事予定公園 上ノ原公園、柴崎公園、とりで公園） ・土砂災害警戒区域等における崖線樹林地等整備に向けた調査、設計、工事 ・花いっぱい運動・おもてなしガーデン事業の推進

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)			今後の取組の方向(Action)		
①崖線樹林地管理台帳の作成（樹木調査） ②地下水の涵養や雨水の流出抑制、川の水質改善などを図るため、雨水浸透施設や雨水タンクの設置を促進【令和7年度・令和8年度】			①崖線樹林地管理台帳の作成 ②地下水の涵養や雨水の流出抑制、川の水質改善などを図るため、雨水浸透施設や雨水タンクの設置を促進		

■28-2 水と緑の創出

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
92	【重点⑤】 公園・緑地等の整備	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺実施区域の機能再編プランに基づく若宮自然広場の実施設計 ・八雲台公園周辺実施区域における公園・緑地の機能再編整備プラン策定	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺実施区域の機能再編プランに基づく若宮自然広場の整備 ・八雲台公園周辺実施区域における公園・緑地の機能再編整備プランに基づく基本設計の実施

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)			今後の取組の方向(Action)		
①機能再編整備を進める新たな地区の検討 ②（仮称）仙川町2丁目仲よし広場整備に向けた実施設計の実施 ③調布基地跡地留保地の活用による施設整備に関する基本計画の策定及び同計画に基づく整備内容等の検討			①機能再編整備を進める新たな地区の検討の継続 ②（仮称）仙川町2丁目仲よし広場の工事完了 ③調布基地跡地留保地施設整備基本計画に基づく整備に向けた取組の推進		

■28-3 深大寺・佐須地域の里山環境の保全・活用の推進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
93	【重点⑤】 深大寺・佐須地域の里山、 水辺環境の保全・活用	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・深大寺・佐須地域における農業公園の適切な管理・運営 ・マインズ農業協同組合と連携し、地元農家の協力による体験型環境学習の充実 ・農業用水路の測量、現況調査の実施 ・深大寺・佐須地域の農地の保全（令和7年度に佐須町4丁目生産緑地の取得）	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・深大寺・佐須地域における農業公園の適切な管理・運営 ・マインズ農業協同組合と連携し、地元農家の協力による体験型環境学習の充実 ・農業用水路の測量、現況調査の実施 ・令和7年度に取得した生産緑地における地産地消事業実証実験の実施

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和7年度の実績及び令和8年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・深大寺自然広場や多摩川児童公園の使用申請におけるオンライン手続の検討【令和8年度】	・ボランティア団体との協働による崖線樹林地の保全を実施（崖線樹林地内での安全講習会の実施）【令和7年度・令和8年度】 ・令和5年度から調布特別支援学校・府中けやきの森学園の2校との協働により、飛田給駅前おもてなしガーデン事業の植替イベント（2校による提供苗を使用）の継続実施【令和7年度・令和8年度】 ・マインズ農業協同組合と連携し、地元農家の協力による体験型環境学習の充実を図ることにより、深大寺・佐須地域に残る農地をはじめとした原風景保全の重要性について理解の醸成【令和7年度・令和8年度】 ・連携協定先であるホッピービバレッジ株式会社と地元農家の方々の協力の下、地産地消事業の実証実験を実施【令和8年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・緑と花の祭典における広く市民への苗木の配布を通じた脱炭素社会に向けた取組（令和7年度は環境フェアなどの関連イベントと連携した実施）【令和7年度・令和8年度】 ・崖線樹林地、公園や緑地等の緑保全のための適正管理を実施【令和7年度・令和8年度】 ・連携協定先であるホッピービバレッジ株式会社と地元農家の方々の協力の下、地産地消事業の実証実験を実施【令和8年度】	・農業公園イベント時に、「かまどベンチ」を使用する企画を通じ、防災対策の啓発を実施【令和7年度・令和8年度】 ・八雲台公園周辺実施区域における公園・緑地の機能再編整備プランにおいて、かまどベンチや防災パーゴラを取り入れた基本設計の実施【令和8年度】 ・凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺実施区域の機能再編プランに基づく若宮自然広場の整備におけるグリーンインフラ（レインガーデン）の導入【令和8年度】